

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部
氏 名 松岡 守

活動テーマ	三重の産業を組み合わせた複合商品の開発と知財教育
実施期間	平成25年 5月 1日 ~ 平成26年 3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 一般に商業高校では商品開発を授業に取り入れているが、一商業高校の取組みでは開発できる商品に限界がある。一方、三重県内には本来は価値ある製品、利用されていない資源が存在するが広く認知されていない状況にある。そこで大学も関わり、教育上も産業発展上からも win-win の関係を構築しようというのが本活動の主旨である。3年計画であり、初年度の本年度は関係者が集まり意見交換、既成商品の検討、再開発商品のコンセプト案の検討・提示、知財教育の実施等を行った。なお、共同実施する津商業高校は同主旨で三重県の平成25年度「若き『匠』育成プロジェクト事業」に申請、採択されており、本地域貢献活動と連携しての活動となった。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 大学としては津商業高校での知財特別授業を1クラス×2回、これに基づく知的財産学習教材「知財ってなんだろう」（全16ページ）の共同作成、研究協議会（1/23）への参加を行った。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 共同実施者の職場が大学に近いことから、メールでのやりとりに加えて平均して月2回程度研究打ち合わせを行った。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 津商業高校での知財特別授業の組み立ては、教育学研究科修士1名及び地域イノベーション学研究科博士1名の研究の一環として行い、かつ授業の実施は教員を目指す学部学生が行うことで、教育・研究上とも意義あるものとなった。これらの成果は上記の学習教材の制作のほかに研究成果としてまとめ、以下で報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学部附属教育実践総合センター学習支援研究会（11/21） ・ 日本産業技術教育学会東海支部大会（12/8） ・ 三重キャリア教育研究会（2/15） <p>また「若き『匠』育成プロジェクト事業」として「三重の商業教育」に活動報告が掲載される。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等） ・ 知財特別授業、津商業高校、約40名、11/6・21の2回実施</p>